

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村健司
		全体計画						経費区分		-		内線	3612
事務事業名	6730 小学校国際化教育推進事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費											
	事業	030000 小学校国際化教育推進事業											
事業目的							事業概要・効果						
児童が外国語を通して、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていく。また、外部講師による研修を行い、教職員の外国語活動指導能力を高めていく。							児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てていけるように役立てる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市内小学校へ、5・6年生に年20回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣した。	市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		6,667	7,343
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,667	7,343
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	275.5	275.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	275.5	275.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		6,942.5	7,618.5

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,584	小学校外国語活動講師謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,083	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,014	小学校外国語活動講師謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,329	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	英語教育への関心が高まり、保護者からの要望も強い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	ネイティブな英語に小学生の時から触れることで、英語に対する不安を和らげることができる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	平成28年度については特に効率化はされていない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成29年度から委託業者を1社に見直して事務を効率化するために、平成29年度から31年度までの業者をプロポーザルで選定した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
委託事業者を絞り込み、業務効率を上げる。		次期学習指導要領への対応、国際人材の育成上、本事業は重要。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント